

#4 からだの供給、からだの肢体、からだの制限

(国際華語特別集會) 2019/6/17-23

I. からだの供給は、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給であり、それは複合の膏油(聖なる塗り油)によって予表されています:ピリピ1:19というのは、あなたがたの祈り求めることと、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、このことが私にとって救いとなることを知っているからです。

A. 複合の霊はからだの中にあり、からだのためであり、からだを建造する祭司の奉仕のためです。

B. 詩篇133篇によれば、兄弟たちが一の中に共に住んでいることの計り知れないすばらしさと、数えきれない喜ばしきは、尊い複合の膏油にたとえられています。133:1-2 見よ、何とすばらしく、何と喜ばしいことであろう。兄弟たちが和合して住んでいる！それは、頭に注がれた尊い油が鬘に、アロンの鬘に流れ下り、彼の衣のすそに流れ下るようだ。月

C. 私たちは肢体のとりなしと交わりによって、その霊の供給を受けます:

1. 私たちは乾いているとき、また前進することができないとき、他の兄弟姉妹に私たちのためにとりなしてもらうことを必要とします。そうしてはじめて私たちは切り抜けることができます。

2. 私たちは自分自身を神の中へと祈り込んで、命を与える霊を私たちの供給として受けて、自分自身を養い、また私たちの顧みの下にあるすべての人を養い、からだを建造する必要があります。ルカ11:2-3 イエスは彼らに言われた、「あなたがたは祈る時、こう言いなさい、『父よ、あなたの御名が聖とされますように、あなたの王国が来ますように。私たちの日ごとのパンを、毎日、与えてください』。…13 あなたがたは悪い者であっても、自分の子供に良い贈り物を与えることを知っているとするれば、天の父は、どれほど、ご自身に求める者たちに、聖霊を与えてくださることであろう！ 火

3. 私たちはからだの供給なしに生きることはできません。ですから、私たちは絶えずからだの交わりを適用しなければなりません。I テサロニケ3:8 なぜなら、あなたがたが主の中で堅く立ってくれるなら、今私たちは生きるからです。

4. 私たちはからだの中で生きている限り、私たちの状態がどうであっても、からだの供給を受けます。

5. 人は光を見たいなら、召会、すなわち聖なる所に入らなければなりません。詩73:16-17 私がこれを理解しようと考えたとき、私の目にそれはめんどろなことであった。私が神の聖なる所へと入り、彼らの最後に気づくまではそうであった。

6. からだ全体は、肢体の間で相互に依存することを通して建造されます。水

II. からだの中には独立や、個人主義はあり得ません。なぜなら、私たちは肢体であり、肢体はからだから離れて生きることはできないからです:ローマ12:5 私たちも数は多いのですが、キリストの中で一つからだであり、そして各自は互いに肢体なのです。

A. 一人一人の信者はキリストのからだの肢体であり、一人一人の肢体は必要不可欠です。I コリント12:14-15 体は一つの肢体ではなく、多くの肢体から成っています。もし足が、「私は手ではないから、体に属していない」と言ったとしても、それで体に属していないわけではありません。…21 目は手に向かって、「私はあなたを必要としない」と言うことはできません。また頭は足に向かって、「私はあなたを必要としない」と言うことはできません。

B. 「もし私たちがからだの中の私たちの地位を真に見るなら、私たちは二度目の救いを受けたかのようです」。

C. 自分がからだの肢体であることを見る人たちは、必ずからだを尊び、他の肢体を尊重します。

D. からだの啓示がある所には、からだの感覚があります。からだの感覚がある所では、個人主義的な思想や行動は除き去られます:

1. 私たちはからだを知りたいなら、私たちの罪深い命と天然の命から救い出されるだけでなく、私たちの個人主義的な命からも救い出される必要があります。

2. 御父がこの世に相對し、その霊が肉に相對し、主が悪魔に相對するように、からだは個人に相對します。

3. 私たちはかしらから独立することができないように、からだからも独立することはできません。

4. 個人主義は、神の目に憎むべきものです:

a. からだの敵は自己、独立した「私」です。

b. 私たちがからだの中で建造されようとするなら、自己は罪定めされ、否まれ、拒絶され、放棄されなければなりません。

c. 私たちは神に依存すべきであるだけでなく、またからだにも、すなわち兄弟姉妹にも依存すべきです。

5. 私が知らない事を、からだの別の肢体が知っているでしょう。私が見ることのできない事を、からだの別の肢体が見るでしょう。私が行なうことのできない事を、からだの別の肢体が行なうでしょう。

6. もし私たちが肢体仲間の助けを拒絶するなら、私たちはキリストの助けを拒絶しているのです。

I コリント12:12 それは、体が一つであっても多くの肢体があり、体のすべての肢体が多くあっても一つの体であるように、キリストも同様だからです。

7. 遅かれ早かれ、単独なクリスチャンはみな枯渇するでしょう。

III. からだの肢体として、私たちは他の肢体の制限を受け、私たちの度量を越えないようにしなければなりません: **A.** からだの成長と発展に対する基本的な要求は、私たちが自分の度量を認識し、それを越えないということです。木金

B. かしらは私たちをからだの中の特別な地位に置き、私たちを特別な機能に割り当てます。I コリント12:18-20 しかし今、神は各肢体を、それぞれ体の中に、彼の意図するままに置かれました。もし全部が一つの肢体であるとしたら、体はどこにあるでしょうか？ しかし今や、肢体は多くあっても、体は一つです。

C. 私たちは自分の働きや、経験や、主に対する享受について証しをするとき、度量の範囲内で、すなわち、一定の限度の中で証ししなければなりません。

D. 私たちは働きが拡大することを期待しますが、どのように神の制限の下にいるかを学ばなければなりません。私たちは限度のない拡大を期待すべきではありません:

1. 私たちがその霊にしたがって働きを拡大させるなら、常にある種の制限があるでしょう。

2. 私たちは、主が働きをある程度までしか拡大しないという感覚を内側で持つでしょう。私たちはある種の限界を越えて働きを拡大させるとき、私たちの内側には平安がありません。

3. 主は外側で、環境の中である事柄を起こして、働きの拡大を制限するでしょう。環境は、私たちが特定の境界線を越えることを許しません。

4. 私たちはパウロのように、神がどれほど私たちに割り当てたかにしたがって動き、行動して、神の尺度、神の度量の制限の中にとどまるべきです。

5. 私たちは召会の奉仕において、神が私たちに割り当てている度量を認識する必要があり、背伸びすべきではありません。ローマ12:4 一つの体の中には多くの肢体があり、そしてすべての肢体が同じ機能を持っていないように。 土

Crucial Point①:からだの生活の中で、からだの供給にあずかり、建造のために6種類の新人を養う

OL1:からだの供給は、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給であり、それは複合の膏油(聖なる塗り油)によって予表されています。**OL2:**複合の霊はからだの中にあり、からだのためであり、からだを建造する祭司の奉仕のためです。**OL3:**私たちは乾いているとき、また前進することができないとき、他の兄弟姉妹に私たちのためにとりなしてもらふことを必要とします。そうしてはじめて私たちは切り抜けることができます。**OL4:**私たちは自分自身を神の中へと祈り込んで、命を与える霊を私たちの供給として受けて、自分自身を養い、また私たちの顧みの下にあるすべての人を養い、からだを建造する必要があります。**ピリピ 1:19** というのは、あなたがたの祈り求めることと、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、このことが私にとって救いとなることを知っているからです。

ピリピ 1:19 で「あなたがたの祈り求めること」という句は、からだの供給を示しています。一見して、パウロは獄にいました。実は、彼はからだの中にいたのです。投獄は、彼をからだから孤立させたり、からだの供給から断ち切ったりしませんでした。

私たちはしばしば、ある兄弟に祈ってもらうようお願いするかもしれません。しかしたとえ彼が私たちのために祈り、私たちが彼のために祈るとしても、この祈りにはほとんど効果はないでしょう。効果に欠けるのは、私たちが祈る時、からだから離れて立っているからです。

詩篇 133 篇の絵によれば、膏油は頭の上にあります。そしてそれは髻に広がり、衣のすそに流れ下ります。これは、もし私たちが個人主義的であるなら、膏油を経験することができないことを示します。**詩 133:1-2** 見よ、何とすばらしく、何と喜ばしいことであろう。兄弟たちが和合して住んでいる！ それは、頭に注がれた尊い油が髻に、アロンの髻に流れ下り、彼の衣のすそに流れ下るようだ。

かつて私は百七十六日間、病気でした。私は自分の病気のために毎日祈りましたが、効果がありませんでした。私は疲れ果てたとき、一人の兄弟に祈ってくださるよう頼みました。私は、この兄弟を尊敬していませんでした。驚いたことに、私は彼のとりなしから助けを受けて、私の状態は短期間に良くなりました。…キリストのからだの供給は実際です。あなたはどれほど苦闘しても、切り抜けることができない多くの事があります。しかし、あなたがいったんその事柄をからだにゆだねるなら、問題は解決されます。これがキリストのからだの供給です。

弟子たちは、[主が]祈っておられるのを見たとき、彼に祈ることを教えていただきました。そこで主は続けて言われました、「あなたがたは祈る時、こう言いなさい、『父よ、あなたの御名が聖とされますように。あなたの王国が来ますように。私たちの日ごとのパンを、毎日、与えてください。私たちが自分に負債のあるすべての者を赦したように、私たちの罪を赦してください。私たちが試みに遭わせないでください』」(ルカ 11:2-4)。…このように繰り返す祈るなら、その結果は、私たちが自分自身を神の中へと祈り込むことになります。…私たちはただ、彼と彼の豊富を私たちの中へと受けるだけです。…私たちは自分自身を神の中へと祈り込み、彼の中にある者として、彼と彼の豊富を受ける必要があります。自分の欠点について、こと細かく祈る必要はありません。…「父よ、私が他の人を赦すように、私を赦してください」という祈りは包括的です。あなたはこうに祈れば祈るほど、自分自身を神の中へと祈り込むことを、ますます認識するでしょう。そして、あな

たは神の中で命の供給を受けるでしょう。

命の供給はルカ 11:11~13 に示されています。「あなたがたのうちで、自分の子が魚を求めるのに、魚の代わりに蛇を渡す父がいるだろうか？あるいは、卵を求めるのに、さそりを渡すだろうか？あなたがたは悪い者であっても、自分の子供に良い贈り物を与えることを知っているとしたら、天の父は、どれほど、ご自身に求める者たちに、聖霊を与えてくださることであろう！」。ここで命の供給は、魚、卵、聖霊によって示されています。…私たちは自分自身を神の中へと祈り込むとき、彼の豊富を私たちの供給として受けます。

適用:在職青年・大学院生編

神のエコノミーのゴールはキリストのからだです。あなたはからだの生活の中でのみ、祝福され、供給されます。あなたは兄弟姉妹に開いて、あなたのビジネス・ライフや研究生活の実際的な必要を祈っていただく必要があります。例えば、あなたは寝つきが悪く、就寝時間が短くなり、疲れています。不眠の原因がはっきりしている場合は、恥ずかしくなくその原因も伝えて祈っていただくべきです。からだの供給は実際です。なかなか切り抜けることができなかったことも、からだからの供給により突破することができます。

兄弟の証し:台湾の同労者との交わりで、「主イエスが人を癒す原則は、その人に信仰があることである」と聞きました。私は毎週の土曜日に激しい片頭痛に悩まされていましたが、この交わりを自分の状況に適用することを思いつきませんでした。しかし、会社に通勤していた時、片頭痛の原因の一つが、緊張が急に解けることであることが分かりました(製薬会社で勤めていたので、学術の本を読んでいてわかりました)。この時、同労者から聞いた信仰によって癒されることと、会社の仕事に緊張しすぎていることが、初めて結びつきました。同労者の兄弟からのからだの供給を直ぐに適用できませんでしたが、その数週間後の通勤時に主のあわれみにより片頭痛に適用することができました。「おお主イエスよ、私の片頭痛の原因が、勤務時に緊張しすぎていることが原因であることが分かりました。私はそのことを認めたくない気持ちがありますが、このことは事実です。私の勤務時にキリストを経験せず、自分自身に頼っている罪を赦して下さい。また、私の不信仰と鈍感さ(からだの供給を実生活にすぐに適用できないこと)を赦して下さい。あなたは私の片頭痛を癒すことができます。主よ、片頭痛を癒してください」と通勤時に、1分以内で短く祈りました。驚いたことに、その週末から24年以上、全く片頭痛に悩まされることは一切ありません。ハレルヤ、主はからだの供給を通して、私の片頭痛を癒されました。

また、あなたは6種類の新人を供給するために、自分自身を神の中に祈り込む必要があります。ルカ 11:2-4 の祈りを、何度も祈り読みすれば、あなたは神ご自身の中に祈り込み、命の供給で満たされます。そうすればあなたは、新人を豊かな命を持って、供給することができます。

Crucial Point②:個人主義を対処して、からだの肢体として相互に依存する

OL1:からだの中には独立や、個人主義はあり得ません。なぜなら、私たちは肢体であり、肢体はからだから離れて生きることはできないからです。**OL2:**もし私たちがからだの中の私たちの地位を真に見るなら、私たちは二度目の救いを受けたかのようです。**OL3:**自分がからだの肢体であることを見る人たちは、必ずからだを尊び、他の肢体を尊重します。**OL4:**個人主義は、神の目に憎むべきものです。からだの敵は自己、独立した「私」です。私たちがからだの中で建造されようとするなら、自己は罪定めされ、否まれ、拒絶され、放棄されなければなりません。

私たちは、クリスチャンは肢体にすぎないことを認識するなら、もはや高ぶらないでしょう。すべては私たちが見るにかかっています。自分が肢体であることを見る人たちは、必ずからだを尊び、他の肢体を尊重します。彼らは自分自身の美德だけを見るのではありません。彼らは、他の人が自分より良いことを直ちにみます。私たちの人の体を考えてください。体のどの肢体も独立して行動することはできません。

キリストのからだは実際です。召会生活も実際です。神の御言葉は、召会はキリストのからだの「ようである」とは言っていません。それは、召会はキリストのからだ「である」と言っているのです。外側のものは、私たちの物質の体の一部になることはできません。私たちは自分の体に服を着せることはできても、服は私たちの体の一部になることはありません。私たちの何も、決してキリストのからだの一部になることはできません。なぜなら、からだの中で、「キリストがすべてであり、すべての中におられる」からです。私たちの中にあるものでキリストの一部でないものは何であれ、私たちがキリストのからだを内側で知ることを妨げます。罪は、私たちがキリストを見ることを妨害し、天然の命は、私たちがからだを見ることを妨害します。

自己のビジョンを見ることは、からだと大いに関係があります。今日私たちは主の回復の中にいますが、回復は最終的にこの極めて重要な事柄、すなわちからだを建造することに来ます。からだの敵は自己です。からだに対する最大の問題、最大の妨害また反対も自己です。私たちが自己を持つとき、からだを持ちません。私たちがからだを持つとき、自己を持ちません。からだは建造されるためには、自己、独立した魂は対処されなければなりません。自己とは独立した「私」です。私たちは独立しているとき、自己の中におり、からだはなくなり、平安がありません。

自己は独立したものですから、自己はからだの建造にとって最大の問題です。私たちは神に依存すべきだけでなく、またからだにも、すなわち兄弟姉妹にも依存すべきです。私たちは兄弟姉妹から独立するときはいつでも、自己の中におり、独立した魂の中にいます。私たちが今日、からだから独立することは、神から独立することに等しいのです。…あなたは自分の経験を調べるなら、兄弟姉妹から独立し[あるいは孤立した]とき、神からも独立し[あるいは孤立した]という感覚を持ったことを認識するでしょう。

適用: 青少年・大学生編

あなたは「キリストのからだのビジョン」と「自己がからだの建造の最大の妨害であるビジョン」を見る必要があります。自己は神とからだに依存せず、神とからだから独立します。従って、あなたは自己を否むことを学ばなければなりません。奉仕についての基本的学課の#19「自己を否む」のアウトラインを祈り読みしてください。(1)自己と肉の違い: a)肉とは、腐敗し変質した体です。b)自己とは、墮落し、反逆する魂です。(2)肉が自己を支配する時、自己は邪悪な人になります。(3)自己が肉に打ち勝つとき、自己は「良い」人になります。(4)自己は神から独立しています。(5)自己は、魂の命の具体化であり、サタンと一つであり、思い(自分の意見を通す思考)を通して表現されます。(6)自己は、隠れており、召会の奉仕を駄目にする要因です。(7)自己は十字架につけられる必要があります。

マタイ 16:21 この時からイエスは弟子たちに、ご自分が必ずエルサレムへ行って、長老、祭司長、聖書学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、三日目に復活させられることを示し始められた。22 するとペテロは、イエスをわきへ引き寄せ、いさめはじめて言った、「主よ、神が

あなたをあわれんでくださいますように! そのようなことは、決してあなたに起こってはなりません!」。23 しかし、イエスは振り返ってペテロに言われた、「サタンよ、私から退け! あなたは私をつまづかせる者だあなたは神のことを思わないで人のことを思っているからだ」。24 それから、イエスは弟子たちに言われた、「だれでも私について来たいなら、自分を否み、自分の十字架を負い、私に従って来なさい。25 なぜなら、すべて自分の魂の命を救おうとする者はそれを失い、すべて私のために自分の魂の命を失う者はそれを見いだすからである。…」

ペテロは良い人の自己をもって、主をいさめました。その時、主はペテロに対して「サタンよ、退け」と言われました。自己は邪悪な人であれ良い人であれ神の事を思わず、神とからだから独立しており、サタンと一つになっている魂です。

個人主義は、神とからだから独立する自己です。欧米先進国で発展したプライバシーは、一面良いことを含んでいます。しかし、自己、個人主義がその中に隠れています。また、日本の文化には、「人に迷惑をかけてはいけない」という考え方があり、そこにも自己、個人主義が隠れています。問題はそれが良いか悪いかの問題ではなく、神とからだから独立するという問題です。

4 大建設(祈りの生活、福音牧場、1対1の牧養、全員機能)の中の1対1の牧養のためのHome Trainingは、6種類の新人と契約を結び、毎日Line等で接触し、毎週あるいは2週に一回Face-to-faceでHome Meetingを行います。人性の育みと神性の養いを持って彼らを成就するためには、彼らの生活の問題やつまづきの根本原因に、導いているリーダーやサブ・リーダーは触れる必要が出てきます。新人を個人主義や文化的背景から引き抜き、キリストを豊かに享受する召会生活に導くために、リーダーたちがまず個人主義、自己、文化から救われ、団体の召会生活、肢体として相互に依存する生活の中でキリストの豊かさを享受する必要があります。Home Trainingにより多くの新人が成就され、キリストの複製が生み出されますように!

Crucial Point③: からだの成長と発展のため、からだの制限を認識し、制限の中で機能する

OL1: からだの成長と発展に対する基本的な要求は、私たちが自分の度量を認識し、それを越えないということです。OL2: かしらは私たちがからだの中の特別な地位に置き、私たちが特別な機能に割り当てます。OL3: 私たちは自分の働きや、経験や、主に対する享受について証しをするとき、度量の範囲内で、すなわち、一定の限度の中で証ししなければなりません。OL4: 主は外側で、環境の中である事柄を起こして、働きの拡大を制限するでしょう。環境は、私たちが特定の境界線を越えることを許しません。OL5: 私たちは召会の奉仕において、神が私たちに割り当てている度量を認識する必要があり、背伸びすべきではありません。

私たちは、かしらであるキリストから受けた命をもって、からだに供給します。しかし私たちは機能するとき、適切で、秩序正しくなければなりません。からだの中の秩序は成長と務めに不可欠です。…集会の中で、…あなたは自分の信仰の度量にしたがい、その霊の導きにしたがって語るべきです。あなたは自分が語るとき度が過ぎていないかどうか、またあまりにも長く話していないかどうかを知るべきです。…私たちが真にかしらの権威の下に来るとき、かしらは私たちがからだの中の特別な地位に置き、私たちが特別な機能に割り当てます。

主は特に若い人たちを制限することに関心があります。もし若い人たちが主に仕える心を持たないなら、主は仕

えるよう彼らをかき立てられるでしょう。しかし、彼らがかき立てられると、主は彼らを制限されます。人の性質はこの種の制限を好みません。…しかしながら、神の方法は、まず私たちの速度を上げ、次に速度を落とすこと、まず私たちを起し、そして徐々に低くすることです。私たちが落ち込んでいるとき、主は私たちを引き上げるでしょう。しかし私たちがあまりにも高く上げられると、主は私たちを低くされるでしょう。…多くの若い人は、神の上げ下げに耐えることができません。数回のこの上げ下げの後、彼らは離れたがります。…神は私たちが常に上がっていることも、常に下がっていることも願われません。自然においてさえ、昼と夜が交互に起こることがこれを証しています。

神には私たちを引き下ろす多くの方法があります。ある若い人は、彼らの結婚生活によって引き下ろされました。ある兄弟は結婚する前、空中に舞い上がるわしのようにであったでしょう。彼はすばらしい、栄光の召会生活について、容易に語ることができました。しかし彼が結婚して間もなく、召会生活はもはや栄光ではないかのようです。神は結婚を用いて、そのような興奮した兄弟を静めておられます。この場合、そのような兄弟は結婚した後、長い間、沈んだままでしょう。しかしやがて彼は再び起き上がります。ただし以前と同じような興奮した状態ではありません。これは進歩のしるしです。私たちは召会の奉仕において、神が私たちに割り当てておられる度量を認識する必要があり、背伸びすべきではありません。私たちは自分の制限、自分の管轄を知って、他の人の領域を越えないようにする必要があります。

適用:奉仕者編

あなたは制限の中で初めて、正常に成長することができます。例えば、主日の集会では一人一人が預言するために、一人は3分以内に制限しています。全員が機能する時、聖霊が働かれ、召会は建造されるからです。また、最初の鳥瞰や最後のまとめの交わりも8分以内です。2人で行う場合は、一人4分以内になります。責任者の兄弟が何かの特別な負担を持って語る場合でも、15分以内で語ります。[Iコリント 14:31](#) **なぜなら、あなたがたはみな一人ずつ預言することができるからであり、それはすべての人が学び、すべての人が励まされるためです。**

兄弟姉妹は、召会や地区の責任者/奉仕者の指導に従い、からだの秩序の中で奉仕してください。特に若い人あるいは新人の兄弟姉妹は、制限される中で前進することを学んでください。自分勝手に振舞わず、年長者の指導の下で制限の中で機能することを学んでください。このことは、結局あなたの保護と祝福となります。一人一人は自分の割り当てられた度量を認識し、背伸びせず、その範囲内で機能して、キリストのからだを建造してください。

[Iコリント 12:18](#) **しかし今、神は各肢体を、それぞれ体の中に、彼の意図するままに置かれました。**[ローマ 12:3](#) **私は、自分に与えられた恵みによって、あなたがた一人一人に言います。自分自身について思うべきことを超えて、思い上がることなく、むしろ神がそれぞれに割り当てられた信仰の度量にしたがって、冷静な思いで思うべきです。**

高い福音 第12課 愛する父なる神(中)

[ルカ 15:20](#) **こうして彼は立って、父の所に帰って来た。ところが、彼がまだ遠く離れていたのに、父は彼を見て深く同情し、走り寄って彼の首を抱き、愛情を込めて口づけした。**[21](#) **息子は言った、『お父さん、私は天に対しても、あなたの前でも、罪を犯しました。もう、私はあなたの息子と呼ばれる資格はありません』。**[22](#) **しかし、父は奴隷たちに言った、『急いで、あの最上の衣を持つ**

て来て彼に着せ、手に指輪をはめ、足にサンダルをはかせなさい。[23](#) **また、あの肥えた子牛を引いて来て、ほふりなさい。食べて楽しもうではないか。**[24](#) **私のこの息子が死んでいたのに生き返り、失われていたのに見つかったのだから』。こうして彼らは楽しみ始めた。**

神の心を認識しない

弟は息子となる値打ちがないと感じ、また一人のしもべとなりたいたいというへりくだった心を持っていましたが、彼は父の心を認識していませんでした。父の心は自分の息子を待ちわびていました。多くの罪人はそのようなへりくだった心を持つかもしれません。しかし彼らは神の心を認識していません。神の心は悔い改める罪人たちが彼のために働くことではなく、彼らが神の息子となることです。雇われたしもべは自分の得るものをもうけなければなりません。また彼の受ける物のために働かなければなりません。しかし、息子はあらゆるものを父から無代償で受けます。

神は人を受け入れる

弟が父に戻りつつあったとき、父が自分を迎えるために待っているなどとは思いませんでした。彼は何度も戸をたたかなければならないであろう、そして父はやっとほかのだれかをやって戸を開かせるであろうと思っていました。ところが息子が戻ってくる途中のまだ遠く離れていた時にさえ、彼の父は彼の来るのを認め、彼を迎えるため走り出したのです。息子は、それは自分が父に戻る問題であると思いましたが、それ以上にそれは父が彼を迎えるために待っているという問題でした。これは多くの人が、神が彼らに答えてくださるのには長い期間、祈らなければならないと思っていることを示しています。彼らには神が悔い改める罪人を迎えるため、そこで待っておられるという認識がありません。しかし実はそのような人が悔い改めて神に立ち返りつつある間でさえ、神は彼を迎えるために待っておられます。

彼がその息子を見たとき、父はあわれみで動かされました。彼の心は動かされたので、彼は走り寄り、息子の首を抱きかかえ、息子に口付けしました。この走ることは時間と彼らの間の距離を縮めました。走ることは足をそれに伴っており、息子の首を抱きかかえることは手を伴っており、口付けは愛情を表現することのできる口を伴っています。ですから私たちは父の全存在が彼の息子のために動かされたことを見ることができます。これは天にいます神が悔い改める罪人を見るとき、彼はあわれみで動かされ、彼を迎えるために走られることを象徴します。彼は悔い改める罪人を彼の全心を込めて抱きかかえます。悔い改める前、多くの人は、神は怖くて恐ろしいと考えますが、悔い改めた後、彼らは神がとても優しく、とても近いことを発見します。

詩歌728 福音 一家に帰る

- 主をはなれ、まようもの、
つみに生き、くるしみ、
(復)かえれ、いえに!
愛のかみ待ちたもう、
 - ながく主をはなれて、
悪しきみちあとにし、
(復)かえれ、いえに!
愛のかみのいえに、
 - おおくのとしつきを、
きょうこそ悔いあらため、
 - 放蕩し、つみおかして、
主のあいこたよりに、
 - 虚偽にしつぼうして、
主はのぞみ、ちからぞ、
- なぜかえらん?
なぜかえらん?
まよわずに;
かえれや、と
まよいが、
主にかえらん。
まよわずに;
いま、かえらん!
浪費せしが、
主にかえらん。
つかれしが、
主にかえらん。
きずついた、
主にかえらん。